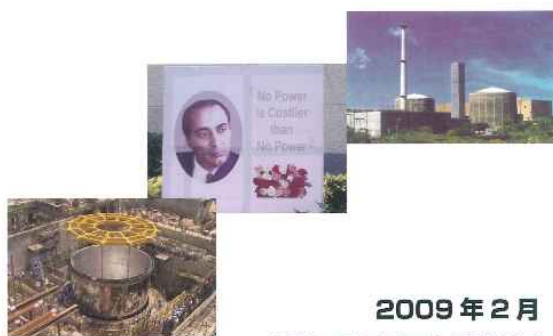


インドの原子力事情

INSAC-2008 参加原産協会訪印団報告書

インドの原子力事情

INSAC-2008 参加原産協会訪印団報告書



2009年2月
(社) 日本原子力産業協会

インドの最新原子力情報を満載！

2009年2月発行

A4版 119頁

価格（消費税、送料込）

原産協会 会員 4,000円

非会員 6,000円

【お申込み先・お問い合わせ】

社団法人 日本原子力産業協会 国際部

TEL 03-6812-7109 FAX 03-6812-7110

E-mail insac@jaif.or.jp

購入は、[申し込み用紙](#)にて、EメールまたはFAXにて！

海外との原子力協力が解禁となり、現在注目を集めるインドの原子力事情について、2008年11月末にインドを訪問した原産協会訪印団の記録とあわせ、現地で収集した最新情報をまとめました。

原産協会訪印団は、2008年11月23～29日にインドを訪問し、ムンバイで開催された第19回インド原子力学会年会 INSAC-2008 に参加した他、原子力関係者との懇談、原子力関係施設の視察を行いました。

本報告書には、INSAC-2008 で発表された 2032 年までに 63GWe を達成する計画をはじめ、インドの 3 段階原子力開発計画、原子力委員長をトップとした原子力開発体制、インド原子力産業の状況等を収録。

また原子力委員長、およびインドの全ての原子力発電所の建設から運転管理までを行っているインド原子力発電公社(NPCIL)幹部との会談記録、インド最大手のエンジニアリング会社ラーセン・アンド・トウブロ(L&T)工場、マドラス原子力発電所、高速炉の研究を行っているインディラ・ガンジー研究所、2011年の運転開始を目指す高速増殖原型炉(PFBR)の建設現場訪問記録も掲載。

さらに、米印原子力平和利用協力協定を巡るこれまでの経緯もまとめて収録しています。

INSAC-2008 参加団の概要は、当協会ウェブサイト

http://www.jaif.or.jp/ja/news/2009/jaif-mission_india.html

に簡単な紹介がございます。